

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【公表番号】特表2008-523805(P2008-523805A)

【公表日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-027

【出願番号】特願2007-546589(P2007-546589)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

A 61 K 39/10 (2006.01)

C 12 N 9/16 (2006.01)

C 07 K 16/12 (2006.01)

C 12 N 1/21 (2006.01)

C 12 P 19/04 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 A

A 61 K 39/10

C 12 N 9/16 Z N A

C 07 K 16/12

C 12 N 1/21

C 12 P 19/04 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月16日(2008.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号1に対して少なくとも25%のアミノ酸同一性を示し、リピドA3-O-脱アシル化酵素活性を示すポリペプチド。

【請求項2】

配列番号1記載のアミノ酸配列を示すポリペプチド。

【請求項3】

請求項1又は2に定義したアミノ酸配列を備えたポリペプチドをコードするDNA配列。

【請求項4】

請求項3記載のDNA配列を含むDNAベクター。

【請求項5】

ポリペプチドをコードするDNA配列が、転写調節配列に作用可能な状態で結合している、請求項4記載のDNAベクター。

【請求項6】

請求項1又は2記載のポリペプチドに結合可能な抗体。

【請求項7】

請求項4又は5記載のDNAベクターを含むグラム陰性菌。

【請求項8】

請求項1又は2記載のポリペプチドをコードするDNA配列を含む百日咳菌。

【請求項9】

その外膜に、部分的又は完全に 3-O-脱アシル化されたリポ多糖 (LPS) 種を含む、請求項 8 記載の百日咳菌。

【請求項 10】

その外膜に、パルミトイル化 LPS を含む、請求項 9 記載の百日咳菌。

【請求項 11】

部分的に 3-O-脱アシル化された LPS を製造する方法であって、3-O-脱アシル化 LPS の合成、及び、任意で、3-O-脱アシル化 LPS の回収を促進する条件下で、請求項 7～10 に定義した細菌を培養するステップを含む方法。

【請求項 12】

少なくとも部分的に 3-O-脱アシル化された LPS を含むボルデテラ菌種から入手可能な LPS を含む組成物。

【請求項 13】

ボルデテラ感染症、好ましくは百日咳菌感染症の治療薬又は予防薬を製造するための、請求項 7～10 記載の細菌の使用。

【請求項 14】

ボルデテラ感染症の治療薬又は予防薬を製造するための、少なくとも部分的に 3-O-脱アシル化された LPS を含む単離されたボルデテラ LPS の使用。

【請求項 15】

請求項 7～10 のいずれか記載の細菌を含む全細胞ワクチン。

【請求項 16】

請求項 12 記載の組成物を含む無細胞ワクチン。

【請求項 17】

グラム陰性 LPS 又はグラム陰性 LPS を含む組成物を脱アシル化するためのインピトロ法であって、グラム陰性 LPS の、酵素による脱アシル化を促進する条件下で、前記 LPS 又は前記組成物を請求項 1 記載のポリペプチドと接触させるステップを含む方法。

【請求項 18】

ボルデテラ菌種由來の 3-O-脱アシル化リピド A、3-O-脱アシル化 LPS、又はパルミトイル化 LPS のソースを含むボルデテラに対する免疫応答誘発剤。